

船舶事故調査報告書

令和2年6月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年9月8日 14時30分ごろ
発生場所	北海道小樽市茅柴岬 <sup>かやしほ</sup> 付近 小樽港高島北防波堤灯台から真方位013°1,200m付近 (概位 北緯43°13.4′ 東経141°1.2′)
事故の概要	プレジャーボートクラシコブルールタオは、航行中、暗岩に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年10月16日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート クラシコブルールタオ、5トン未満（長さ5.37m） 200-28421北海道、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	右舷船尾部船底外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1.5m、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、海水浴をする目的で茅柴岬付近の干出浜に向けて西進していた。 本船は、両側が水深約50～80cmの岩場となっている水路（水深約4～5m）を航行中、船長が、左舷前方の‘干出浜付近の暗岩’（以下「本件暗岩」という。）に接近していることに気付き、避けようとしたものの、風及び波により圧流され、本件暗岩に乗り揚げて乗り切った。 本船の本事故時の喫水は、船首尾共に約0.5mであった。
分析	本船は、干出浜に向けて約1.5ノットの対地速力で西進中、風及び波を受けて西南西方に圧流されたことから、本件暗岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、干出浜に向けて約1.5ノットの対地速力で西進中、風及び波を受けて西南西方に圧流されたため、本件暗岩に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・航行中は、気象及び海象状況を勘案し、適切な速力で針路を保持すること。